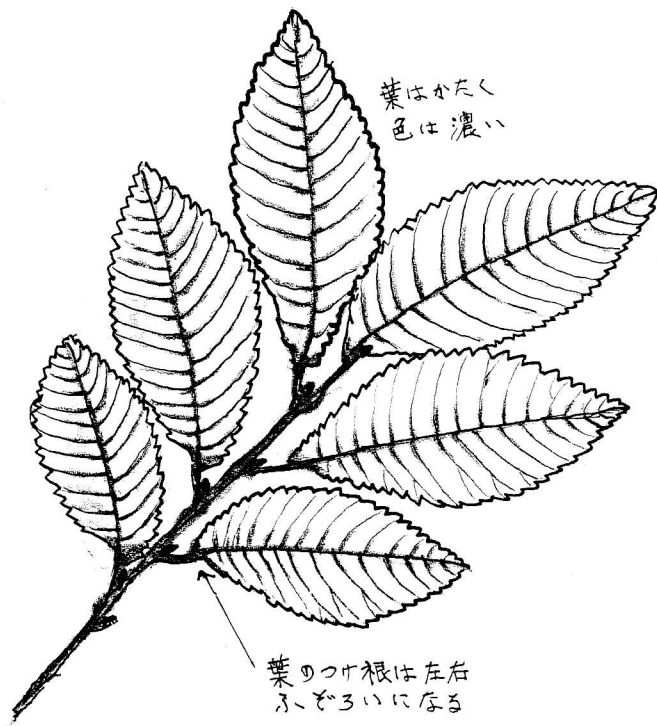


樹 木 (葉っぱ)

アキニレ

(ニレ科ニレ属)

ニレの樹には、春に花が咲くハルニレ、秋に花が咲くアキニレがあります。ハルニレは、寒い地方に生える高木、特に北海道に多い、アキニレは暖かい地方に生える小高木です。アキニレの樹皮は、うろこ状にはがれ落ち、かっ色の斑紋をあらわして美しい、また粒状の皮目も多い。葉は小さく2.5~5cm位で、左右不対称になることが特徴、紅葉は黄色色が中心だが、時に赤くなることもある。花は淡い黄色、葉の元(葉えき)に4~6個つぎます。葉つくし野にはアキニレ並木通りがあります。



葉はかたく
色は濃い

葉のつけ根は左右
ふらりになる



雄しべ4本
雌しべ1本
かっは4枚で
舟形

花



果実(翼果)

落葉広葉樹
葉っぱのつき方 : 互生
葉の形 : 不対称裂葉(単葉)
葉の縁の形 : 鋸歯縁